

戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に伝えていくために

—市民と行政が創る「飯田市平和祈念館(資料室)」設立から学ぶ—

昨年から「明治150年」とか「平成の30年は戦争のない平和な時代であった」などと、昭和の戦前、戦中、戦後の時代を覆い隠そうとする政府、マスコミの報道操作に流されているように感じられます。本当に平和な時代・30年だったのでしょうか？日本の戦争責任は清算されておらず、未決の戦争責任問題は今もなお続いています。そのため被害を受けた人々の心の傷は癒されていません。

戦争はいつでもどこでも起こる危険性がますます高まっている今、私たちは過去の歴史に向きあい、平和の大切さを後世に伝えて行く責務があります。

今回、長年、長野県飯田市で平和活動を続け、元731部隊員の証言聞き取りや「飯田市平和祈念館(資料室)」設立運動をしている久保田昇さんを迎えてお話を伺います。

資料室案内書には《「資料室」は多くの方が戦争の悲惨さを感じ、平和の大切さを受け止め戦争体験を風化させることなく語り継ぐことにより平和な社会が続くことを願い開館しました。

展示・保管している戦争に関わる数多くの平和資料は、実際に戦争を体験された皆さん、戦争の犠牲となられた兵士の方々が身に着けたり使っていたりした品々です。—(略)—戦争がどのように始まり、普通に暮らしていた人々がどのように戦争に動員され、犠牲を強いられていったのか。また日本が戦争によって他国の人々にどのような損害と苦痛を与えたのか。資料を通して、被害と加害の二つの面から「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を私たち一人ひとりが考える契機になればと思います。》

お話:久保田 昇さん (飯田市平和資料収集委員)

日時:3月24日(日)14時30分~17時

会場:中野区産業振興センター

参加資料代:500円

ABC企画委員会2019年「総会」

日時:3月24日(日)13時10分~14時20分

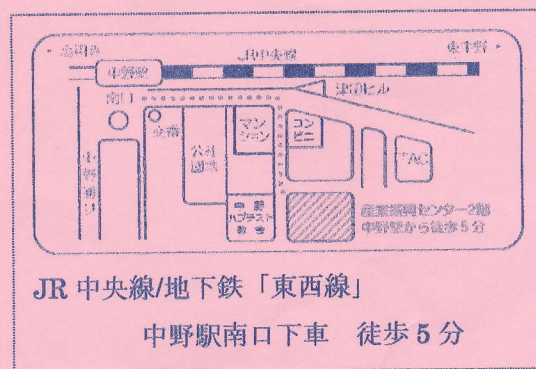
会場:中野区産業振興センター・大会議室

内容:2018年活動報告と2019年活動方針を検討します

※当会会員以外の方でも、関心のある方はどなたでも参加できます。

主催:ABC企画委員会

連絡&問合せ先:小平市学園西町1-22-15-101 (080-5655-3354)



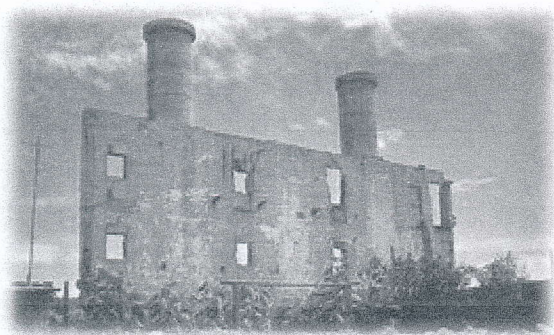
加害の責任を問い、真の友好と平和を希求する

講演と合唱の夕べ

2019年6月28日(金) 18:30開演 (18:00開場)

小金井 宮地楽器ホール(大ホール)

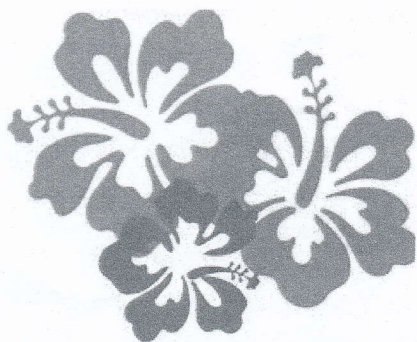
JR 中央線 武蔵小金井駅 駅前



731部隊ボイラー室跡



沖縄の海



講演 **731部隊 今問われていること**

慶応義塾大学名誉教授 松村 高夫さん

訴え **防衛省は資料隠蔽するな**

防衛省情報公開裁判原告 和田千代子さん

合唱 **混声合唱組曲「悪魔の飽食」**

「島唄」^{わらびがみ} 「童神」

「^{うちなー}沖縄の雲へ」から「ひめゆりの声」ほか

「悪魔の飽食」をうたう東京合唱団

指揮: 金田まり子 ピアノ: 能村久雄 小野綾子

入場料・資料代 1000円

(全席自由・当日1200円)

共催: ・「悪魔の飽食」をうたう東京合唱団・ABC企画委員会・731部隊細菌戦資料センター
・小金井平和チャリティーコンサート実行委員会

連絡先: 事務局・「悪魔の飽食」をうたう東京合唱団 (090-7178-0571 平田)